

科目名	空港実務ⅡB						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	河野 浩一		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事		
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	前期の内容の復習も兼ね、引き続き空港地上支援業務従事者としてグランドハンドリング業務に於いての知識を深め、その定着を図る。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					航空機DOORの操作と注意ポイントを理解し、手順を実施できる	
	○	○	○	○		航空機のシステムを理解し、ブレーキマンとしての手順を実施できる	
	○					搭降載の規定を理解し、作業のポイントを説明できる	
	○					制限区域内の車両運転ができるよう、規定を説明できる。	
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	航空機DOOR操作要領					
	2	航空機DOOR操作要領					
	3	航空機DOOR操作要領				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	4	TOWING作業全般					
	5	BREAK作業 ELEC SYS				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	6	BREAK作業 HYD SYS				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	7	BREAK作業 パネルでの操作確認 実技口頭質問				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	8	空港規則(制限区域内の車両安全)				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	9	空港規則(制限区域内の車両安全) 理解度テスト					
	10	CARGO LOADING MANUAL					
	11	CARGO LOADING MANUAL					
	12	CARGO LOADING MANUAL					
	13	CARGO LOADING MANUAL				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
	14	CARGO LOADING MANUAL				授業該当箇所の復習を行う(0.5時間)	
15	後期の振り返り 理解度テスト						
評価方法	(1)授業中での実技および口頭質問 (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)定期試験の実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	○				70%
	理解度テスト(筆記/2回)	○	◎				20%
	実技及び口頭質問	○	◎	○	○		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	業界地理						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者			
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	国内就航空港とその都市の特徴及び世界遺産を知り、空港地上支援業務従事者として必要な知識を身に付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					各空港の3レターコードを見て答えることができる	
	○					各都市の特徴を答えることができる	
	○					国内の世界遺産を答えることができる	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明					
	2	九州地方					
	3	沖縄・離島(鹿児島島の離島を含む)					
	4	中国・四国地方					
	5	関西地方①					
	6	中部地方					
	7	甲信越地方					
	8	関東地方①					
	9	関東地方②					
	10	東北地方					
	11	北海道地方①					
	12	北海道地方②					
	13	小テスト①					
	14	小テスト②					
15	小テスト③						
評価方法	(1)小テスト(確認テスト)を3回実施する。(2)授業開始の際、最近興味をもったニュース、出来事を各自発表。 (3)定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト(小テスト)		○		◎		30%
	授業中の発表	○			◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	業界総合演習					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	河野 浩一	
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	エアラインのグループ企業にて、グランドハンドリング業務に従事	
対象学科・学年	エアポート科2年					
授業概要	空港地上支援業務従事者としての意識を向上させ、企業が求める安全運航に対し高い意識と感性を備えた人材を養成する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○					安全、セキュリティの重要性を理解することができる
	○					現場で求められる人材に必要な業界知識と意識を身に付けることができる
	○	○		○		現場で活用できる資料の作成を行うことができる
	○	○				企業に必要なコンプライアンス・業績管理などを理解し考えることができる
テキスト・教材 参考図書	「航空機のグランドハンドリング」日本航空技術協会出版 パワーポイントなど各プリント資料					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	企業のコンプライアンスについて				
	2	企業のコンプライアンスについて			企業理念を理解し、発表するための予習を行う(1時間)	
	3	企業理念について (各自発表)				
	4	フィロソフィ				
	5	航空保安・BAGのセキュリティ				
	6	航空保安・BAGのセキュリティ				
	7	航空機の安全運航 LMの業務				
	8	航空機の安全運航 LMの業務				
	9	搭降載制限・危険物搭載				
	10	搭降載制限・危険物搭載				
	11	搭降載・危険物資料作成				
	12	搭降載・危険物資料作成				
	13	搭降載・危険物資料作成				
	14	理解度テスト				
	15	NLLモバイル				
	16	高所作業車教育				
	17	定時性(品質) 5Sの取り組み				
	18	アメンバー経営(部門別採算制度)				
	19	アメンバー経営(部門別採算制度)				
	20	アメンバー経営(部門別採算制度)				
	21	航空機の安全運航、重量管理、ウェイトアンドバランス				
	22	航空機の安全運航、重量管理、ウェイトアンドバランス				
	23	航空機の安全運航、重量管理、ウェイトアンドバランス				
	24	航空機の安全運航 過去のトラブル				
25	航空機の安全運航 過去のトラブル					

	26	航空機の安全運航 過去のトラブル					
	27	航空機の安全運航 過去のトラブル					
	28	航空機の安全運航 過去のトラブル					
	29	航空機の安全運航 過去のトラブル					
	30	振り返り 理解度テスト					
評価方法	(1)授業の中で課題(資料作成) (2)授業の中で理解度テストを実施 (3)定期試験の実施 以上を、以下の観点・割合で評価する。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				60%
	理解度試験(2回)	◎	○				20%
	課題(資料作成)	○	◎		○		20%
履修上の注意	出席が15回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英語検定(2級)対策ⅡB					
科目名(英)	EIKEN Test/TOEIC Test Strategies ⅡB					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	石田 小雪	
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験	語学教育企業にて数か国のネイティブと勤務	
対象学科・学年	エアポート科2年					
授業概要	これまで身につけてきた英語の基礎力を様々な分野で応用できるようにするためには、日頃から幅広い内容の英語に多く触れ、それらを理解していく必要がある。この授業では、学校や仕事、趣味といった身近なものから文化や歴史、環境問題など多岐にわたるテーマに沿って学び、社会生活に必要な英語を使えるようになることを目指す。					
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				説明、評論、物語、随筆などについて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(読む)
	○	○				会性のある話題について自分の意見を簡潔にまとめて、100文字程度の英文を書くことができる。(書く)
	○	○				事物に関する紹介や報告、対話や討論などを聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえることができる。(聞く)
テキスト・教材 参考図書	英検過去問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	オリエンテーション、ディクテーション、音読、英検リーディング(短文の語句空所補充)				
	2	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	3	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	4	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	5	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	6	英検模擬試験 問題1 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	7	英検模擬試験 問題1 リスニング 解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	8	英検本試験解説 大問1			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	9	英検本試験解説 大問2			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	10	英検本試験解説 大問3			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	11	英検本試験解説 モデルライティング練習			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	12	英検2級本試験結果分析フィードバック、ライティング10問、英検2級攻略法			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	13	英検リーディング短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	14	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	15	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	16	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	17	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	18	英検二次対策 スピーキング/英検筆記対策(過去問題)			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	19	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	20	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	21	英検リーディング(短文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	22	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	23	英検リーディング(長文の語句空所補充)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	24	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	25	英検リーディング(長文の内容一致選択)、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
	26	英検ライティング、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと	
27	英検模擬試験 問題2 筆記			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと		

	28	英検模擬試験 問題2 リスニング 解答&解説						前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	29	英検模擬試験 問題2 解説						前回の復習および予習を行って授業に臨むこと
	30	後期まとめおよび期末試験対策						前回までの復習を行って授業に臨むこと
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)小テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。							
	定期試験	◎	○					60%
	小テスト	◎	○					40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。							

科目名	英語検定(TOEIC)対策ⅡB				
科目名(英)	EIKEN Test /TOEIC Test Strategies ⅡB				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	和田 菜穂/野々村 賢一
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	
対象学科・学年	エアポート科2年				
授業概要	国際国際化が進む社会の専門性として、日常英会話にとどまらず、より専門的な分野で通用する高いレベルの情報処理能力を念頭に業務を行うことが求められている。限られた時間の中で正確、かつ迅速に対応し、社会で必要とされる英語力に見合った力をつけることが重要である。この授業では、英語運用能力を測る代表的な資格であるAレベル・TOEIC860点以上のスコア取得を目指し、問題演習を通して英語の4技能を伸ばしていく。				
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○	○			社会性のある内容の文章を理解することができる。(読む) ・International Herald Tribune、「Financial Times」等一般的な国際英字新聞の記事を読んで、大まかに理解できる。 ・会議の議事項目(アジェンダ)を読んで理解できる。
	○	○			社会性のある内容を聞いて理解することができる。(聞く) ・ラジオのニュース番組で、最初にアナウンサーが言う主なニュース項目を理解できる。 ・自分の専門分野での発表やプレゼンテーションを聞いて理解できる。
	○	○			社会性のある話題について書くことができる。(書く) ・今後取引先となりそうな相手に対して、自社製品を紹介・売込みのためのEメールやレターを書くことができる。 ・FAX、E-mailでホテルの予約ができる。
テキスト・教材 参考図書	TOEIC L&Rテスト至極の模試、他実践問題集、TOEIC S&Wテキスト、WordPower4500、Listening Box for TOEIC他				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	導入、夏休み明け復習テスト、解答&解説			
	2	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	3	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	4	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	5	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	6	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	7	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	8	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	9	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	10	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	11	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	12	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	13	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	14	TOEIC対策 Part5、Part6強化問題、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	15	中間テスト、解答&解説			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	16	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	17	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	18	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	19	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	20	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	21	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。
	22	TOEIC対策 Multiple Passage攻略、実践模試、リスニング			前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。

	23	TOEIC対策 Multiple Passege攻略、実践模試、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	24	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	25	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	26	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	27	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	28	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	29	Business Writing、語彙強化、Dictation	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
	30	定期試験対策 学期総括	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと。また単語テストに向けた予習を行うこと。やり直しを徹底的に行うこと。				
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 (2)TOEICを学期末に実施する。(12月) 評価方法は800点取得で100%、730点取得で95%、700点取得で90%とし以下も取得点数により評価に反映する。 (3)単語テストを複数回実施し、評価とする。  以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	TOEIC	◎	○				30%
	課題提出	◎	○				10%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						



	26	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	27	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	28	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	29	英検対策 大問5(ライティング)、リスニング	前回の復習および予習を行って授業に臨むこと				
	30	期末テスト前復習	前回の復習を行って授業に臨むこと				
評価方法	<p>(1) 学内で英検を実施する。英検準2級完全合格を85点、1次合格を80点、1次不合格のバンド-1は75点、バンド-2は73点、バンド-3は70点、バンド-4は68点、バンド-5は65点、バンド-6は63点、バンド-7以下は60点とする。</p> <p>(2) 定期試験(筆記)を実施する。</p> <p>(3) 小テストを実施する。</p> <p>以上を下記の観点・割合で評価する。</p> <p>成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				60%
	小テスト	◎	○				40%
履修上の注意	出席が20回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	英会話B						
科目名(英)	English Conversation B						
単位数	2	時間数	30	担当者			
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	1. Students can develop English proficiency 2. Students can gain more confidence in using English 3. Students can gain English skills for living abroad, work and proficiency tests						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				Students can raise English proficiency.	
	○	○				Students can gain more confidence in using English.	
	○	○				Students can learn English skills for living abroad, work and proficiency tests.	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer Holidays			none		
	2	10.1 Top Cities			Preview lesson materials		
	3	10.2 Crime and Punishment			Preview lesson materials and review previous lesson		
	4	Teacher's Lesson			none		
	5	10.3 There's a problem			Preview lesson materials		
	6	Halloween Prep			none		
	7	Halloween Lesson			Review previous lesson		
	8	10.4 Mary's Meals			Preview lesson materials and review previous lesson		
	9	Halloween Lesson			Review previous lesson		
	10	10.5 Lookback			Review previous lesson		
	11	Halloween Lesson			Review previous lesson		
	12	11.1 Keeping in touch			Review previous lesson		
	13	11.2 Make a difference			Preview lesson materials and review previous lesson		
	14	Teacher's Lesson			none		
15	Speaking Test Practice			Review previous material			
評価方法	Students evaluation: (1) Test - 50% (2) Class participation - 25% (3) Attendance - 25 % The scoring scheme is: S (90 and above); A (80~89); B (70~79); C (60~69); D (59 and below)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験 Semester End Exam	○	○				50%
	小テスト In-class Tasks	○	○				50%
履修上の注意	Students will not receive a grade if they miss more than 10 classes.						

科目名	WINDOWS演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	宮原裕花		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	パワーポイント作成の技術を身に付け、作成したパワーポイントを使いプレゼンテーションを行う。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			表・グラフの作成が出来る。	
			○			図・クリップアート・ワードアートの挿入と加工ができる。	
			○			アニメーションの設定・画面の切り替えができる。	
			○			画像の加工とマルチメディアの活用ができる。	
		△	○			作成したパワーポイントを使ってプレゼンテーションができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Power Pointの基礎知識、基本的なプレゼンテーションの作成					
	2	新しいプレゼンテーションの作成・プレゼンテーションの流れ					
	3	図やオブジェクトの挿入と編集・イラストや画像の挿入他					
	4	図やオブジェクトの挿入と編集・図形、テキストボックス他					
	5	図表、グラフ、表の挿入と編集					
	6	特殊効果の設定・画面切り替え、アニメーション効果					
	7	印刷関係の機能					
	8	スライドショーをサポートする機能(課題提出)					
	9	プレゼンテーション作成_発表に使える機能・データ収集					
	10	オリジナルプレゼンテーション作成のためのデータ収集・作成					
	11	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	12	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	13	オリジナルプレゼンテーションの作成					
	14	オリジナルプレゼンテーションの発表					
	15	オリジナルプレゼンテーションの発表					
評価方法	(1)授業内で与えた課題の提出 (2)プレゼンテーションと作品の提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題提出				◎		50%
	プレゼンテーションと作品の提出				◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。						

科目名	一般教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	瀧口 恵子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	社会人基礎力養成として、2年間の一般教養の授業の総まとめとして実施。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					主な国際機関について、その活動内容を理解し説明することができる。	
	○					漢字検定2級程度の漢字の読み書きができる。	
	○					英検準2級程度の問題に解答することができる。	
	○					四則演算と基礎的なSPI問題d内に正確に解答することができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要・シラバス説明、第1回(国際機関とその活動、世界遺産)			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	2	第2回 英文空所補充、英・日ことわざ			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	3	第3回 英文空所補充、SPI問題			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	4	第4回 漢字の知識、名数、歴史			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	5	第4回 英文空所補充、SPI問題			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	6	第5回 漢字の知識、読解問題、経済			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	7	第6回 漢字の知識、SPI問題、英文和訳			テキストの該当部分の復習を行う(0.5時間)		
	8	試験					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況を意欲点として評価 (3)宿題・レポート 以上を、以下の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○					80%
	出席状況				○		10%
	宿題・レポート (原稿用紙2枚以上/1回)	◎			○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	社会教養ⅡB						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	社会人としての基礎知識や自己管理能力の必要性を考える。また、入社前に事前課題を終了し入社に備える。						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			<input type="radio"/>			社会人として必要な自己管理ができる。	
				<input type="radio"/>		集団行動を通して、リーダーシップを発揮することができる。	
				<input type="radio"/>		ボランティア活動に積極的に取り組むことができる。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明、目標設定					
	2	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	3	自己管理の重要性について考える					
	4	事前課題					
	5	航空業界で活躍する卒業生との交流会					
	6	事前課題					
	7	ボランティア活動を体験することで、その意味を考える					
	8	事前課題					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)出席状況を意欲点として評価 (2)小テスト 以上を、下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S (90点以上)、A (80点以上)、B (70点以上)、C (60点以上)、D (59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席状況				<input type="radio"/>		80%
	小テスト	<input type="radio"/>					20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、不合格とする。						

科目名	ビジネスマナー演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	榎本 美和子		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	旅行・航空業界にて接客業を経験		
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	幅広い年齢層の方に好まれる接遇を復習しながら、ロールプレイングによりコミュニケーション・接遇のスキルを定着させ更なる向上を図る。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					幅広い年齢層に応じた会話ができる。	
				○		また会いたいと思われる対応ができる。	
				○		お客様対応時の言葉遣い・所作ができる。	
		○				お客様の心理・要望を汲み取ろうとすることができる。	
	○				入社前に必要なマナー・意識・手続きを理解する。		
テキスト・教材 参考図書	「実践ビジネスマナー」ウィネット						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明・学生から社会人への意識転換					
	2	話の聞き方・話の仕方・新入社員自己紹介				家庭や友人、アルバイト先で好まれる会話を実行しよう(1時間)	
	3	敬語演習(応用編)				アルバイト先で上司やお客様に意識的に敬語を使おう(1時間)	
	4	文書について・Eメール作成(わかりやすさ・温かさ・配慮)					
	5	入社手続きに必要な書類について					
	6	話の仕方(応用編)					
	7	往復はがきの書き方					
	8	各店頭でのお客様対応 ロープレ					
	9	お客様をお見送りする方法					
	10	冠婚葬祭マナー					
	11	電話のかけ方(基本～応用)				家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)	
	12	電話の受け方(基本～応用)				家庭やアルバイト先で積極的に電話に出よう(1時間)	
	13	お茶・お菓子の出し方/いただき方				今日から、お茶やお菓子のマナーを守っていただきましょう。	
	14	後期のまとめ				苦手なところの見直し(0.5時間)	
15	目標とする社会人像と人生の送り方 発表				目標を意識して過ごそう。		
評価方法	(1)授業内期末試験 (2)実技テスト【2回】 以上を、以下の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				70%
	実技テスト			◎	○		30%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ビジネス文書						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	エアポート科2年						
授業概要	ビジネスシーンの中において必要な社内文書、社外文書、社交文書の知識を身に付け、ビジネス文書検定取得を目指す。また、社会人としてSNS内の正しい表現や使い方についても知識を深める。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					表記技能(総合, 用字, 用語, 書式)について理解できる。	
	○					表現技能(正確な文章, 分かりやすい文章, 礼儀正しい文章)について理解できる。	
		○				実務技能(社内文書, 社外文書, 文書の取り扱いについて理解できる。	
				○		文書による効果的コミュニケーションが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ビジネス文書とは					
	2	伝言メモの作成					
	3	文の成り立ち、文章の構成					
	4	文体の統一・演習					
	5	ビジネス文書の種類と特徴					
	6	社外文書の書き方・演習					
	7	社交文書の書き方・演習					
	8	社内文書の書き方・演習					
	9	横書き・縦書きの構成					
	10	手紙の常識、便箋の書き方・演習					
	11	はがき・封筒の書き方・演習、電子メールのマナー					
	12	敬語表現の常識、尊敬語・謙譲語					
	13	尊敬語・謙譲語の演習					
	14	見やすい文書の工夫					
15	まとめ						
評価方法	(1)授業の中で小テストを4回実施する (2)宿題数回実施する (3)演習問題(過去問題)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		30%
	演習問題	◎	◎		◎		20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位は付与しない。						